



### ①課題

- ・学校の理念等は学生便覧に記載し、入学時オリエンテーションでの指導やホームルーム等にて周知しており、保護者へも読んでいただくよう伝えている。しかし、学生の認識や理解度、及び保護者の理解度等の確認はできていない。
- ・目標や目的、構想は抱いているが、取り組みの進捗確認ができていない。

### ②今後の改善方策

- ・学生一人ひとりの能力、気質、性格等に違いがあるので、学校の理念等は普段から多くの教員が繰り返し伝えていくことが有効である。
- ・各学科にて情報収集をし、必要に応じて研修会に参加するなど、業界のニーズを掌握する。

### (2) 学校運営

評価項目	※1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

### ①課題

- ・業務の簡素化、効率化を図る必要がある。
- ・本校に関係する法令等（保育、介護、看護、社福）は、労働法規等も含め、教育の質の向上や法令遵守の観点から各法令を確認する体制が必要。

### ②今後の改善方策

- ・教職員の業務内容・勤務体制等を見直す。
- ・勤怠管理システム等の導入。
- ・事業計画で示している会議体を履行し、当該会議での内容を適切に遂行することにより適正な運営を図る。

### (3) 教育活動

評価項目	※1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4

・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	3
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
・成績評価・履修認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

#### ①課題

- ・学年制では、履修認定ができなかった科目が1つでもあると原級留置となるため、学力の低い学生は、補習等の学習時間が増加して負担が大きくなっている。
- ・コロナ禍により、学科内の休講補講による授業時間の確保のため、学科の枠組みを超えた多職種連携教育は実施できていない。
- ・今年度もコロナ禍により能力開発のための教職員の研修等が少ししかできなかった。その反面、コロナ禍でのオンライン授業等の経験値を積むことができた。次年度からコロナ禍対応を引き続き実施するとともに、能力開発のための研修を取り入れていく。

#### ②今後の改善方策

- ・学年制から単位制への検討をする。履修認定できなかった科目を次年度に再履修できるよう体制を整え、弱点を補強して卒業をさせる。
- ・コロナ禍ではあるが、科の枠組みを超えた多職種連携教育について検討を継続し、スモールステップで実施していく。
- ・コロナ禍対応にも慣れてきたので、能力開発のための研修を取り入れていく。
- ・学科を超えて、教員間でそれぞれの授業を参観して、意見交換ができる場をつくる。

#### (4) 学修成果

評価項目	※1
・就職率の向上が図られているか	3
・資格取得率の向上が図られているか	4
・退学率の低減が図られているか	3

・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

### ①課題

- ・コロナ禍により、「学内就職ガイダンス」の開催及び学外での就職フェア全員参加が難しい。
- ・退学防止の取り組みを行っているが、効果がある年度とそうでない年度がある。その差の検証が必要である。
- ・留学生の国家試験合格者をいかに増やすか。日本人学生と合同での国家試験対策講座では、日本語能力および学力の低い留学生には適切ではないので、有効な支援を検討。
- ・年内就職内定率 100%が遅れがち
- ・看護学科国家試験合格率を上げる。

### ②今後の改善方策

- ・学内就職ガイダンスは規模を縮小し、感染対策を講じて開催する。
- ・就職フェアは、夏から秋に開催する複数のフェアに分散して参加させる。
- ・あかね会（同窓会）を活性化させる。
- ・日本語能力および学力の高い留学生は、日本人学生と一緒に国家試験対策講座や補講を受ける機会を多くする。反対に日本語能力が低い留学生は、個別に学習支援を行う。
- ・法人内の認定こども園及び高齢者施設への就職採用を増やす。

### ③特記事項

- ・障がい分野の就職希望者が多いため、介護社会福祉科・児童福祉科の学生が参加できるよう、障がい者施設を集めた学内就職ガイダンスを検討してみてもいいのでは。

### (5) 学生支援

評価項目	※1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
・学生の生活環境への支援は行われているか	4
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

### ①課題

- ・卒業生の転職に関する相談には応じているが、その他の支援となると難しい。
- ・経済的な支援体制では、学費納入期限までに納入できない学生に対して個別で延納や分納の対応を行っている。延納分納する学生が増えてきており、対応や管理をする業務が増えている。
- ・コロナ禍による就職活動の一環として「オンライン面接」の対策が必要である。

### ②今後の改善方策

- ・あかね会（同窓会）が卒業生のコミュニティの場となって、世代を超えて求人等を含めた様々な情報交換ができるようにしたい。
- ・オンライン面接の練習を実施する。

### （6）教育環境

評価項目	※1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
・防災に対する体制は整備されているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

### ①課題

- ・Z o o mでの授業は、学生の理解度を見ながら進度を調整することが難しい。
- ・施設・設備は整備されてきているが、部分的な老朽化が見られる。
- ・2号館は全体的に老朽化しているので、建て替えが必要だが、資金計画が課題。

### ②今後の改善方策

- ・2号館の建て替え計画を中長期的に検討する。
- ・津波による避難は高石市の避難計画と連携し整備する。

### （7）学生の受入れ募集

評価項目	※1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

### ①課題

- ・ルール違反のない募集活動は行っているが、学生数は減少している。
- ・オープンキャンパスにてカリキュラムや授業内容等、教育成果の説明を強調するほど敬遠される傾向にある。教育成果を正確に伝えながら、かつ入学へ結びつける成果が課題。

### ②今後の改善方策

- ・来場者に対して懇切丁寧に接し、入学して頂ける学校となるように案内する

(8) 財務

評価項目	※1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

- ・消費税率のアップ、物価の上昇の経緯の中、学費は上げていない。学生数を増加させることが一番の課題である。
- ・学生のために、教育、施設、人材すべてにおいて質を高めることが肝要である。教職員の質の向上を全員が意識して研鑽に努める。

②今後の改善方策

- ・教育上必要な設備や備品及び教材等への資金計上を有効にし、無駄を省く見極めをする。募集活動に要する経費も是々非々で進める。
- ・収支の進捗を定期的に会議の場で公表して、質の向上への取り組み意識を保つようにする。

③特記事項

特になし

(9) 法令等の遵守

評価項目	※1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・学校関係者評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
・学校関係者評価結果を公開しているか	4

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

- ・コロナ禍でのまん延防止期間により学校関係者評価等の開催を自粛した。オンラインでの開催ができるようにする。

②今後の改善方策

- ・学校関係者評価委員会がコロナ禍等、対面でできない場合は zoom にて開催する。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	※1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生ボランティア活動を奨励、支援しているか	4
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

- ・コロナ禍により、ボランティア募集が減少。学校からボランティア募集の情報収集をする。
- ・学校行事を活かした単発的なものは実施しているが、継続できるものの企画が難しい。

②今後の改善方策

- ・高石市のイベントへ参加し、地域貢献を行う。
- ・大阪府委託訓練事業（介護福祉士と保育士）を毎回受託できるよう、教育内容と就職支援に注力する。
- ・看護学科はボランティアの情報発信を行いながら、社会の問題や支援の現場を、学生自ら探すように指導をし、実施していく。